**＜授業案テンプレート＞**

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **内容** |
| **授業タイトル** | 例: 高齢者の看護過程と看護診断 |
| **授業目標** | 学生が授業後に達成するべき目標を明確に記載。例: 高齢者の看護過程を理解し、看護診断を立案できる。 |
| **対象者** | 看護学生、臨床経験のある看護師、看護教員向けなど |
| **授業時間** | 例: 90分 |
| **教材・資料** | 使用する資料（プリント、スライド、図表など）。例: ゴードンの看護過程、事例資料、看護診断ハンドブック |
| **授業内容****（進行計画）** | **イントロダクション（10分）**: 目的・目標説明、簡単な復習**内容説明（40分）**: 看護過程説明、事例に基づく看護診断**演習・実践（30分）**: 学生に看護診断立案**まとめ・質疑応答（10分）**: 要点振り返り、質問受付 |
| **学習評価方法** | 演習での看護診断適切さ、SOAP記載の完成度、質問理解度 |
| **宿題・次回案内** | 次回授業テーマ、宿題の確認 |
| **参考文献** | 例: 「看護過程の基本」「高齢者看護の実践」など |

**＜授業案テンプレート＞**

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **内容** |
| **授業タイトル** |  |
| **授業目標** |  |
| **対象者** |  |
| **授業時間** |  |
| **教材・資料** |  |
| **授業内容（進行計画）** | **イントロダクション（例: 10分）**: |
|  | **内容説明（例: 40分）**: |
|  | **演習・実践（例: 30分）**: |
|  | **まとめ・質疑応答（例: 10分）**: |
| **学習評価方法** |  |
| **宿題・次回案内** |  |
| **参考文献** |  |

**＜授業作成の具体的手順＞**

**1. 授業テーマの決定**

* 例：看護過程のアセスメント技術、BPSDへの対応、COPD患者のセルフマネジメントなど。
* 【ポイント】カリキュラムとの整合性、学年・習熟度との関連を確認する。
* 【アクション】指導要領・カリキュラムを参照し、授業回数とのバランスも考慮。

**2. 授業の目的設定**

* 【知識】何を理解できるようにするか（例：疾患の病態と看護との関連性を説明できる）。
* 【技術】どのような技術を身につけるか（例：吸引の必要性を判断し、安全に実施できる）。
* 【態度】どのような姿勢を育てたいか（例：倫理的配慮の視点で患者と関われる）。

**3. 授業構成の検討**

* 【導入】学習意欲を高める問いかけや事例提示。
* 【展開】スライドや板書で知識提示→演習やグループ活動で実践。
* 【まとめ】ポイントの振り返り、次回への橋渡し。

**4. 教材の準備**

* 【スライド】視覚的に理解しやすく、図表を多用。キーワードを強調。
* 【配布資料】事前に印刷またはLMSへアップロード。ワークシートや振り返りシートも準備。
* 【映像・モデル】看護技術や実際の患者の声などを含めると効果的。

**5. アクティビティの計画**

* 【例1】BPSDの事例に対し、グループでケア計画を立案。
* 【例2】排泄援助の場面をロールプレイで再現。
* 【例3】ポジショニングの実技指導とチェックリスト評価。

**6. 評価方法の設定**

* 【形成的評価】授業中のワークや発言、ペアワークでの観察。
* 【総括的評価】レポート課題、演習記録、チェックリスト。
* 【フィードバック】授業後のふりかえりシートへのコメント、グループごとの口頭フィードバック。

**7. 授業進行計画の作成**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **展開** | **目標** | **内容** | **予想される反応** | **評価方法** |
| **導入** |  |  |  |  |
| **展開１** | 授業目標を記載 | 授業内容を記載 | 学生等の予想される反応を記載 | 発言・記載など |
| **展開２** |  |  |  |  |
| **展開３** |  |  |  |  |

**8. 授業後のふりかえり**

* 学生の反応や理解度を振り返る（例：ワークシートの内容、発言の質など）。
* 良かった点：○○の説明に反応が良かった／演習が活発だった。
* 改善点：時間配分がタイトだった／資料の説明が不足していた。
* 【アクション】次回に反映させるため、授業記録ノートに記入する。